

| | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------|-----|--------|----------------|-------------|-----------------|------|----------|
| 科目ナンバリング | | U-LAS23 20002 SO48 | | | | | | | |
| 授業科目名 <英訳> | 中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習] C264 Intermediate Chinese B [Conversation with native instructor] | | | | 担当者所属 職名・氏名 | 非常勤講師 林 麗てい | | | |
| 群 | 外国語科目群 | | | 分野(分類) | | | | 使用言語 | 日本語及び中国語 |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習(外国語)(対面授業科目) | | |
| 開講年度・ 開講期 | 2026・後期 | | 曜時限 | 月3 | | 配当学年 | 2回生以上 | 対象学生 | 全学向 |
| 【授業の概要・目的】 | | | | | | | | | |
| <p>本授業は、大学で1年間、週2コマの中国語学習を経験した学生を対象とする中級レベルの中国語実習クラスです。</p> <p>日常的な会話力をさらに発展させながら、聞く・読む・話す・理解するの四技能をバランスよく伸ばすことを目的とします。特に、HSK4級レベルの教材を用いて、文脈理解力と語用的な運用力を養うことを重視します。</p> <p>授業では『HSKスタンダードコース中国語4級上』を中心に、映像教材やニュース素材、アニメなども適宜取り入れます。学生は単に文型を暗記するのではなく、実際の状況に応じて適切な表現を選び、意味を理解して使う力を培います。</p> <p>また、QuizletやPadlet、Kahootなどのデジタルツールを活用し、学習内容の定着を図るとともに、理解と運用の両面から楽しく学びます。</p> | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1.HSK4級レベルの語彙・文法を理解し、文脈に応じて適切に使えるようになる。 2.短い会話や文章を聞いて内容を把握し、自分の言葉で要点を説明できる。 3.実際のコミュニケーション場面で、状況に応じた表現を使い分け、自然な対話ができる。 4.学習者が積極的に授業に参加し、しっかりと予習をする。知らない単語を事前に調べ、主体的に言語活動に取り組む姿勢を身につける。 | | | | | | | | | |
| 【授業計画と内容】 | | | | | | | | | |
| <p>第1回 ガイダンス・導入・復習</p> <p>第2回 Lesson 6「一分銭一分貨」 品質・値段に関する聴解練習</p> <p>第3回 Lesson 6 + 映像素材「消費文化」</p> <p>第4回 Lesson 7「最好的医生是自己」 健康テーマの読解・要約</p> <p>第5回 Lesson 7 + ロールプレイ 医者と患者の会話練習</p> <p>第6回 Lesson 8「生活中不缺少美」</p> <p>第7回 Lesson 8 + 小テスト</p> <p>第8回 Lesson 9「陽光总在風雨後」 逆境を乗り越える表現練習</p> <p>第9回 Lesson 9 + 音楽素材「励ましの歌」歌詞の聞き取り+ディスカッション</p> <p>第10回 補強活動 (アニメ素材「努力・友情」) 台詞再現+感想共有</p> <p>第11回 Lesson 10「幸福的標準」</p> <p>第12回 Lesson 10 + 短い口頭発表スピーチ「私の幸福の基準」</p> <p>第13回 総合復習 (Lesson 6-10) 総合総合練習・単語テスト</p> <p>第14回 期末ロールプレイ・発表会グループ発表・相互評価</p> <p>《定期試験》</p> <p>第15回 フィードバック</p> | | | | | | | | | |
| 中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習] C264(2)へ続く | | | | | | | | | |

中国語II B [会話・ネイティブ実習] C264(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

原則として期末試験50点、平常点50点で評価する。平常点は小テストや授業への参加状況に基づく。詳細は1回目の授業で説明する。また、実際の状況に応じて変更することがある。

[教科書]

株式会社『スタンダードコース中国語-中国語の世界標準テキスト-4上』（国家漢弁/北京語言大学出版社、2015）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

各回の新出語彙と文型を必ず予習し、授業での会話・聴解練習に備えること。
授業後は録音・Quizlet等で復習し、表現の定着を図る。
わからない単語や文法は自分で調べ、質問を歓迎します。

[その他（オフィスアワー等）]

授業中・授業後の質問を歓迎します。理解が難しい箇所はそのままにせず、仲間と相談したり講師に尋ねるなど、積極的に学ぶ姿勢を大切にしてください。

[主要授業科目（学部・学科名）]